

Course number		U-LAS06 10001 LJ41									
Course title (and course title in English)		日本国憲法 The Japanese Constitutional Law		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,MIHIRA TSUKASA					
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Foundations)					
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・Second semester	
Days and periods		Mon.3		Target year		All students		Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]											
<p>複雑化し、多様化した現代日本社会の諸問題に取り組んでいく際には、倫理・経済・法など、多角的な視点から考察することが重要である。なかでも、多様な人々が共生していくための基盤である憲法は、そうした諸問題に取り組んでいく際の不可欠の視点である。</p> <p>本授業では、多様な人々が共生していくために、憲法がいかなる権利を基本的人権として保障しているか、また、様々な政治・社会問題がそれらの権利とどのように関わっているかを中心に、憲法に関する基本的な知識と視点を講義する。</p>											
[Course objectives]											
<p>本授業では、憲法の基礎的な知識と視点の修得を目指す。特に、現代の様々な政治・社会問題と憲法が保障する権利との関わりについて認識し、自ら考察できるための基礎的能力の修得を目標とする。</p>											
[Course schedule and contents)]											
<p>本授業は、当面、オンデマンド形式をとる。具体的には、授業内容を収録した動画（パワーポイントのスライドと音声による解説を収録した動画）をPandA上に配信する。（ただし、状況によっては、Zoomを利用したライブ授業に変更する場合もある。）</p> <p>授業では、裁判所の判決を編集した教科書を使用する。なお、受講生の理解状況や時事的な問題状況等に応じて、取り扱う内容や順序、配分回数等を変更することがある。（授業回数はフィードバックを含め全15回とする。）</p> <ol style="list-style-type: none">1．オリエンテーション 憲法を学習する意義、授業の進め方【1週】2．法学の基礎知識 法とは何か、法領域の種別、裁判制度【1-2週】3．憲法学の基礎知識 憲法とは何か、日本国憲法の基本原理【1-2週】 日本国憲法の権利保障の仕組み【2-3週】4．日本国憲法が保障する基本的権利											
-----Continue to 日本国憲法(2)-----											

日本国憲法(2)

自由権【 4 - 6 週】
社会権【 2 - 3 週】
法の下の平等【 1 - 2 週】

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

以下に基づき、成績評価を行う。

1 . レポート (90%)

レポート課題は、適切な時期に公表する。

2 . 平常点 (10%)

授業の視聴・理解を確認するため、PandA上で随時クイズを実施する。

[Textbooks]

初宿正典 『基本判例 憲法25講』 (成文堂) (最も新しい版を購入すること。)

[References, etc.]

(References, etc.)

曾我部真裕・見平典 編 『古典で読む憲法』 (有斐閣)

大林啓吾・見平典 編 『憲法用語の源泉をよむ』 (三省堂)

[Study outside of class (preparation and review)]

特に、復習を大切にしてください。復習では、教科書・参考書やノートを参照しながら、授業内容を整理して理解するとともに、授業で取り上げた判例を今一度読み直して、自ら検討するように努めて下さい。また、日頃から新聞やニュース番組等を通して、憲法に関する諸問題について知見を広げるように心掛けて下さい。

[Other information (office hours, etc.)]